

McLaren Honda MP4/4

1988 WORLD CHAMPIONSHIP WINNING CAR

5

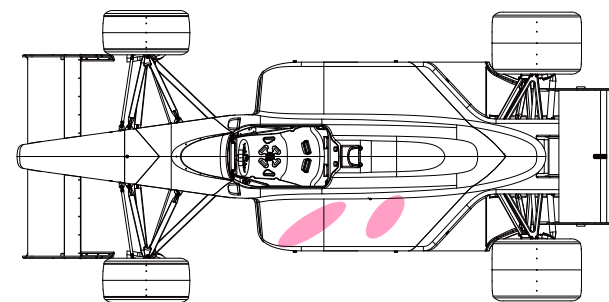
マクラーレン ホンダ
MP4/4

最速の世界を制した伝説のメモリアルマシンを
内部機構まで完全再現！



Mission 15 左のインタークーラーを組み立てる ②

今号は、10号で組み立てたインタークーラー（左）にインタークーラーユニットA（左）、インタークーラー（左上、左下）を取り付け、ターボエンジンの補機である左のインタークーラーを完成させる。インタークーラーとラジエーターは後の号でサイドポンツーンに装着するため、事前に組み立ての手順を確認しておく。



今号のパーツ

① ラジエーター（左・内）



③ インタークーラー（左上） ダイキャスト製



② ラジエーター（左・外）



④ インタークーラー（左下） ダイキャスト製



※①～②はHIPS（スチロール樹脂）製

今号で使用する道具

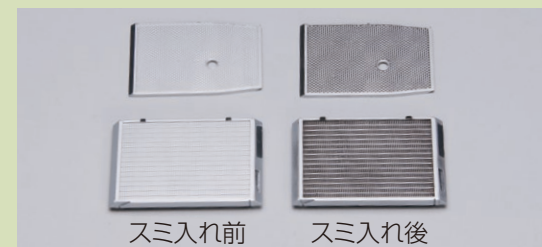
- ・瞬間接着剤
- ・カッター
- ・カッティングマット

用意するもの

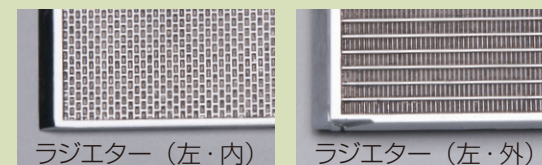
- ・インタークーラー（左） ※10号で組み立て
- ・インタークーラーユニットA（左） ※14号で組み立て

ディテールアップ

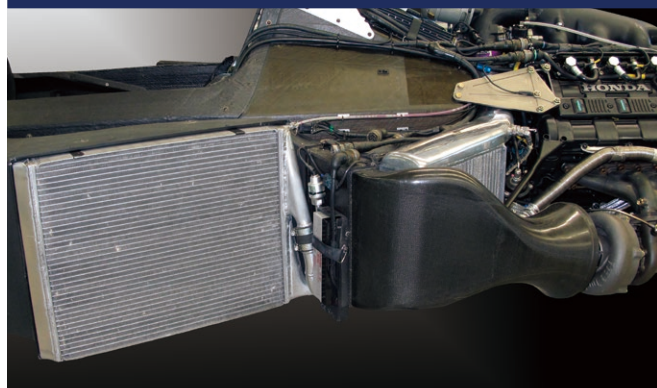
ラジエーターのスミ入れ



●ラジエーターの格子状の部分は、凹みにスミ入れすることで、立体感が強調される。スミ入れは、今号の作業後に行う。



※スミ入れは任意の作業だ。詳しいスミ入れ工程については9号、10号のディテールアップを参考にしよう。



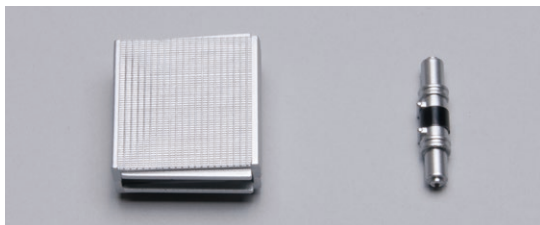
インタークーラーはエンジンの吸気を冷却して空気密度を高めることで、エンジンの燃焼効率を向上させ、出力を高める効果をもたらす。本モデルのインタークーラーは、重量感のあるダイキャスト製のパーツが多用されている。そしてタンク部分にはメッキが施され、実車の形状だけでなく質感も再現された。

◀MP4/4の左側のインタークーラーとラジエーター周辺。

In Focus

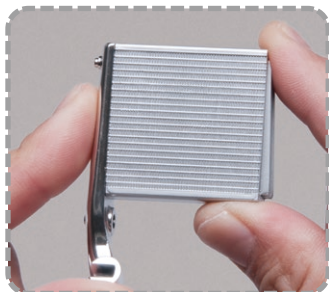
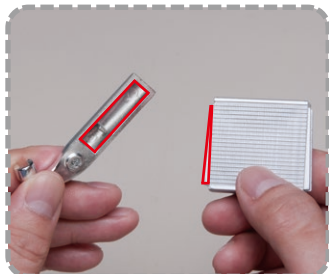
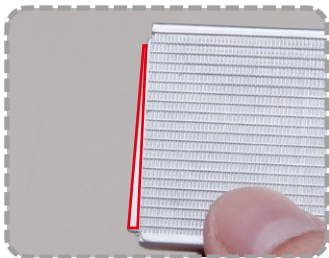
1 インタークーラー（左）、インタークーラーユニットA（左）、インタークーラー（左上、左下）の接着準備

● 10号で組み立てたインタークーラー（左）、14号で組み立てたインタークーラーユニットA（左）を用意する。



《仮組み》

インタークーラー（左）は赤線で囲んだ突起の形状を目印にして、パーツの向きを確認する。確認したらその突起を④インタークーラー（左下）の赤線で囲んだ長方形の溝に組み合わせる。



《仮組み》

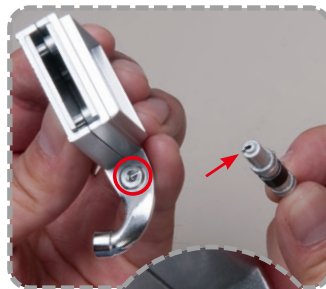
インタークーラーユニットA（左）を赤矢印で示した溝の位置に注意しながら、インタークーラー（左下）の赤丸で示した凹みに差し込む。

■ インタークーラーユニットA（左）の溝を青矢印で示した突起に合わせる。

インタークーラー（左）とインタークーラー（左下）、インタークーラーユニットA（左）が組み合った状態。

《仮組み》

インタークーラー（左）の赤線で示した突起と③インタークーラー（左上）の赤線で囲んだ長方形の溝、インタークーラーユニットA（左）の青矢印で示した突起とインタークーラー（左上）の青丸で示した凹みを組み合わせる。



2 インタークーラー（左上、左下）のメッキを削る

● インタークーラー（左下）の赤線で囲んだ面のメッキを、カッターの刃のない部分を使って削る。削りづらい場合には、ホビー用のダイヤモンドヤスリなどを使用するとよい。



● U字型をした溝の内側のメッキを、先端から3ミリ幅程度U字型の面に沿って削る。



■ インタークーラーユニットA（左）と組み合う丸い凹みのメッキははがさない。

● インタークーラー（左上）も同様に、長方形の溝の2面とU字型をした溝の先端から3ミリ幅程度のメッキを削る（赤線で示した部分）。



3

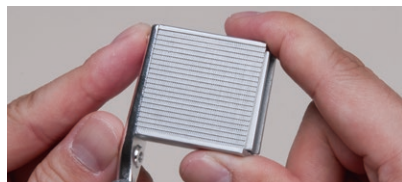
インタークーラー（左）、インタークーラーユニットA（左）、インタークーラー（左上、左下）の接着をする

● インタークーラー（左下）のメッキを削った面の赤矢印で示した部分に、瞬間接着剤を少量塗る。



■ 瞬間接着剤は塗りすぎると白化する場合があるので注意する。

● 仮組みしたようにインタークーラー（左）とインタークーラー（左下）を組み合わせて、完全に接着するまで1分ほど指でおさえる。



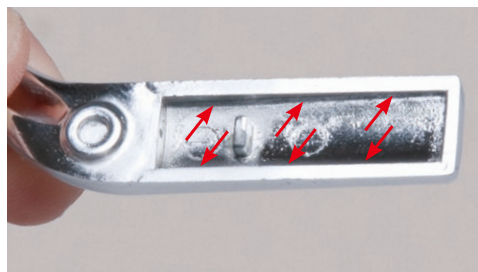
● インタークーラー（左下）の赤丸で示した丸い凹みに、瞬間接着剤を少量塗る。



● 仮組みしたようにインタークーラー（左下）の丸い凹みにインタークーラーユニットA（左）を組み合わせて、完全に接着するまで1分ほど指でおさえる。



● インタークーラー（左上）のメッキを削った面の赤矢印で示した部分に、瞬間接着剤を少量塗る。



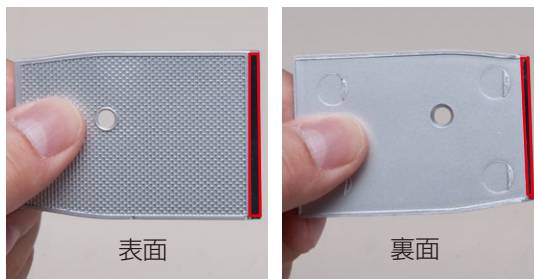
● 仮組みしたようにインタークーラー（左）、インタークーラーユニットA（左）、インタークーラー（左上）を組み合わせて、完全に接着するまで1分ほど指でおさえる。



4

ラジエーター（左・内、左・外）の塗装をはがす

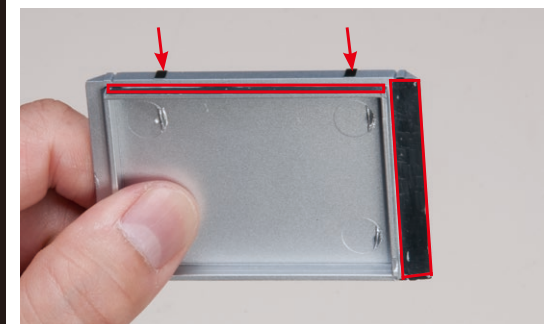
● ① ラジエーター（左・内）の表面（格子状）と裏面の、赤線で囲んだ面の塗装を、カッターの刃のない部分を使ってはがす。



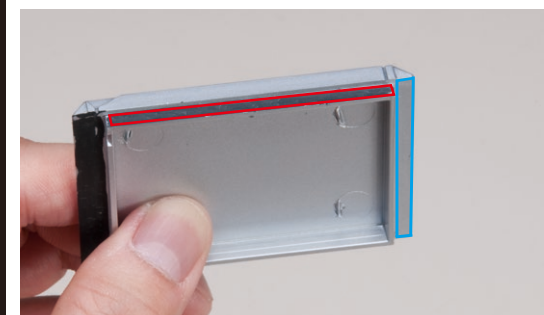
● ② ラジエーター（左・外）の切り欠きの2方向の面の、赤線と黄線で囲んだ部分の塗装をカッターの刃のない部分ではがす。青線で囲んだ1ミリ幅程度の部分は、後の号でパーツを接着しても外側から見える部分なので、塗装をはがさない。



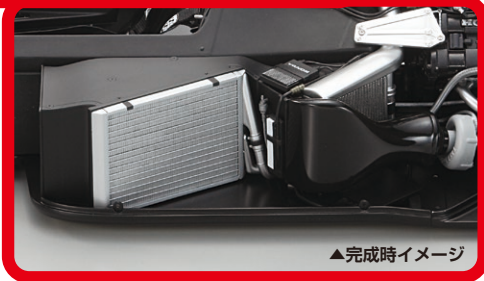
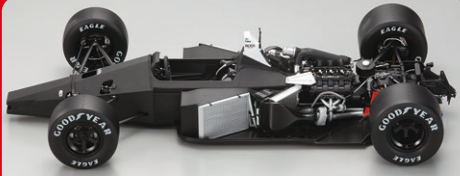
● 赤矢印で示した黒い部分を目印にして、赤線で囲んだ面の塗装をカッターの刃のない部分ではがす。



● 反対側（黒い部分がない側）も同様に赤線で囲んだ面の塗装をカッターの刃のない部分を使ってはがす。青線で囲んだ面の塗装ははがさなくてよい。



Check



▲完成時イメージ

■今号の作業で完成した左のインタークーラーはサイドポンツーンと組み合わされる。作業の工程はナビゲーションにて確認しよう。

今号の完成

インタークーラーユニットA (左)、インタークーラー (左上、左下) が組み合わされ、インタークーラー (左) が完成した。ラジエター (左・内、左・外) は接着部分の塗装をはがして、後の号での組み立ての準備をした。



ナビゲーション

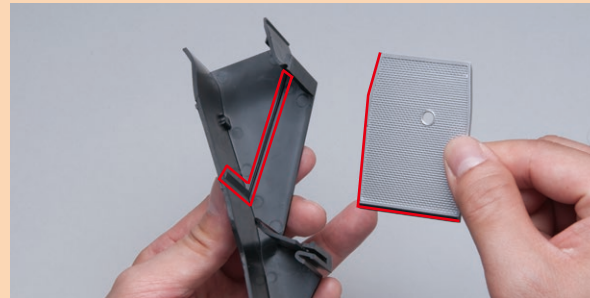
ラジエターとインタークーラーの取り付け位置

今号で組み立てたインタークーラー (左) とラジエター (左・内、左・外) は、後の号でサイドポンツーン (左) に装着する。事前に取り付け位置を確認しておこう。

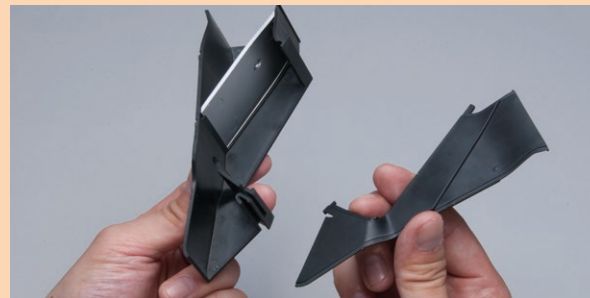
- 1 9号で提供したサイドポンツーン (左上、左下) を用意する。



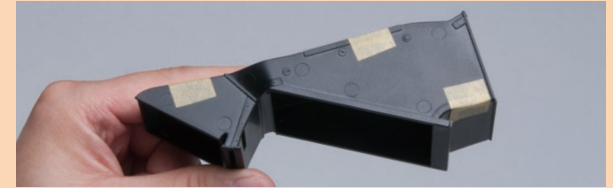
- 2 ラジエター (左・内) の赤線で示した部分を、サイドポンツーン (左上) の赤線で囲んだ部分に組み合わせる。



- 3 サイドポンツーン (左下) をサイドポンツーン (左上) とラジエター (左・内) の形状に合わせて組み合わせる。



- 4 写真のように合わせ目にマスキングテープを貼って仮留めし、サイドポンツーン (左) をつくる。



- 5 ラジエター (左・外) をサイドポンツーン (左) の赤線で囲んだ枠に、向きを確認しながらはめ込む。



- 6 インタークーラー (左) をサイドポンツーン (左) の赤線で囲んだ枠に、向きを確認しながらはめ込む。

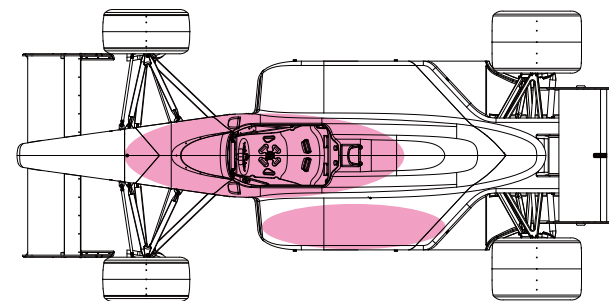


- 7 各パーツの前後や天地を確認しておこう。



Mission 16 左のサイドポンツーンを組み立てる ①

今号は、左のサイドポンツーン、モノコックといったボディー部分を組み立てていく。サイドポンツーン(左上)はラジエター(左・内)やサイドポンツーンステム(左)を取り付けた後、サイドポンツーン(左下)と組み合わせる。次に、ラジエター(左・外)にはラジエターホース(左上、左下)を、モノコックにはサイドカバー(左)を取り付ける。



今号のパーツ

① モノコック



※①はHIPS(スチロール樹脂)製

今号で使用する道具

- ・プラモデル(スチロール樹脂)用接着剤
- ・カッター
- ・カッティングマット
- ・マスキングテープ
- ・シャープペンシルなど

用意するもの

- ・サイドポンツーン(左上) ※9号で提供
- ・サイドポンツーン(左下) ※9号で提供
- ・サイドカバー(左) ※9号で提供
- ・サイドポンツーンステム(左) ※13号で提供
- ・バッテリー ※13号で組み立て
- ・ラジエターホース(左上) ※14号で組み立て
- ・ラジエターホース(左下) ※14号で組み立て
- ・ラジエター(左・内) ※15号で組み立て
- ・ラジエター(左・外) ※15号で組み立て

ポイント

サイドポンツーンステム(左)の判別方法

●今号の組み立てで使用するサイドポンツーンステム(左)は、写真のように向けて置くと、切り欠きの位置で(左)であると判別できる。サイドポンツーンステムの左右の見分け方は、13号10ページのポイントを参照しよう。



F1のカーボンファイバー製モノコックは、軽量で高い強度を持っており、マシンの性能だけでなく、ドライバーの安全性も追求したものとなっている。本モデルのモノコックには、実車に打ち込まれているリベットや表面の質感をも、より忠実に再現するなどリアル感にこだわっている。

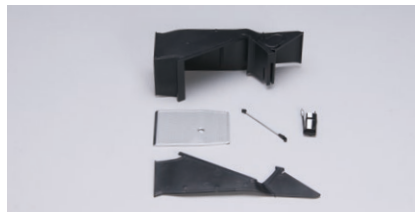
◀MP4/4のモノコックおよび左のサイドポンツーン。

In Focus

1

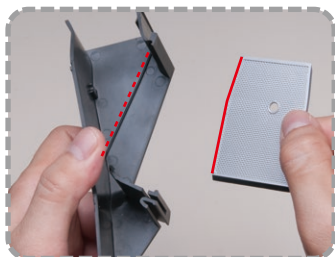
サイドポンツーン (左上、左下)、ラジエター (左・内)、サイドポンツーンシステム (左)、バッテリーの接着準備

● 9号提供のサイドポンツーン(左上、左下)、13号で提供したサイドポンツーンシステム(左)、ラインラベルを貼ったバッテリー、15号で接着面の塗装をはがしたラジエター (左・内)を用意する。

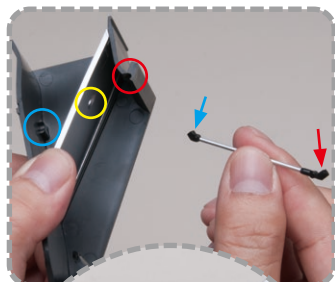


《仮組み》

サイドポンツーン (左上)の赤い点線で示した部分に、ラジエター (左・内)の赤線で示した部分を組み合わせる。



サイドポンツーンシステム(左)をラジエター (左・内)の黄丸で示した穴に通し、青矢印部分はサイドポンツーン (左上)の青丸の溝へ、赤矢印部分は赤丸の溝と組み合わせ、先端が溝にしっかり収まっていることを確認する (黄矢印で示した部分)。



《仮組み》

バッテリーの赤線で囲んだ突起を、サイドポンツーン(左上)の赤線で示した溝に組み合わせる。

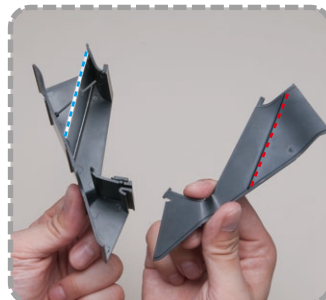


写真のように、バッテリーを溝の奥まで差し込む。



《仮組み》

サイドポンツーン (左上)とラジエター (左・内)の形状に合わせて、サイドポンツーン(左下)を組み合わせる。このとき、青い点線の部分は赤い点線の部分と組み合わせる。



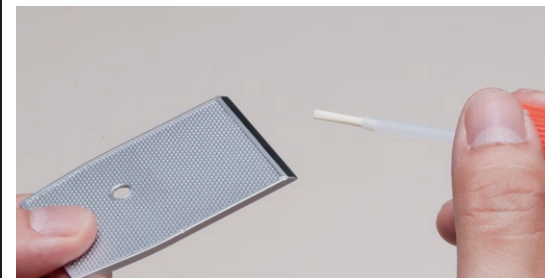
2つのパーツがしっかりと組み合っていて、合わせ目に段差がないことを確認し、3センチ程度のマスキングテープを4本用意する。



2

サイドポンツーン (左上、左下)、ラジエター (左・内)、サイドポンツーンシステム (左)、バッテリーを接着する

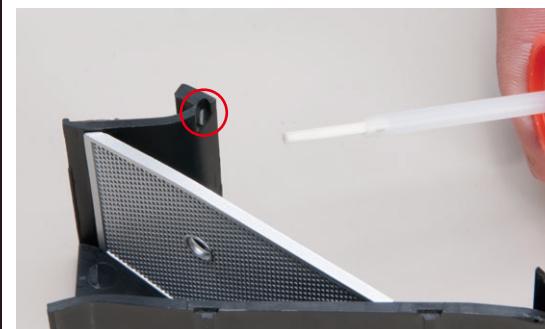
● ラジエター (左・内)の塗装をはがしてある部分(両面)にプラモデル(スチロール樹脂)用接着剤を塗る。



● 仮組みしたように、サイドポンツーン(左上)とラジエター (左・内)を組み合わせて、接着面がはがれないように2~3分おさえる。



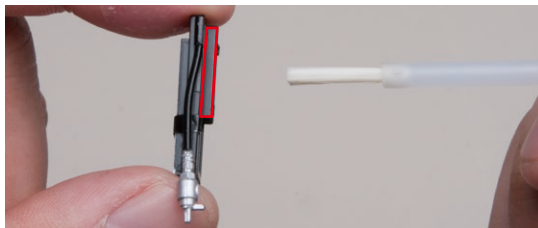
● サイドポンツーン(左上)の赤丸で示した溝に、プラモデル(スチロール樹脂)用接着剤を塗る。



- 仮組みしたように、サイドポンツーン(左上)とサイドポンツーンステム(左)を組み合わせて、接着面がはがれないように2~3分おさえる。



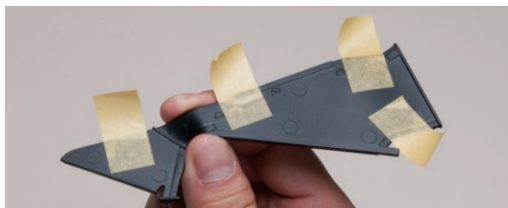
- バッテリーの赤線で囲んだ面にプラモデル(スチロール樹脂)用接着剤を塗る。



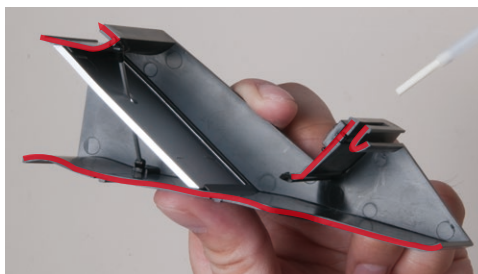
- 仮組みしたように、サイドポンツーン(左上)とバッテリーを組み合わせて、接着面がはがれないように2~3分おさえる。



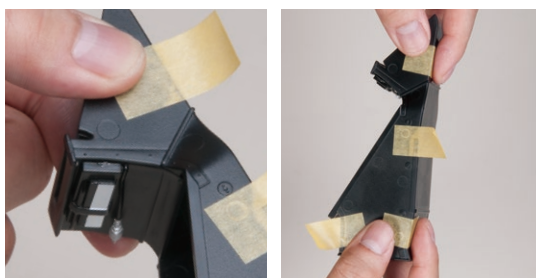
- 用意したマスキングテープを写真のようにサイドポンツーン(左下)に貼る。



- サイドポンツーン(左上)の赤線で示した部分に、プラモデル(スチロール樹脂)用接着剤を塗る。



- 仮組みしたように、サイドポンツーン(左上)とサイドポンツーン(左下)を組み合わせる。特にバッテリー周辺の形状は複雑なので、正しく組み合っているか確認する。接着面が密着するように貼っているマスキングテープでサイドポンツーン(左上)に固定し、完全に接着するまで、1時間ほどおく。



3

ラジエーター(左・外)とラジエーターホース(左上、左下)の接着準備

- 14号でラインラベルを貼ったラジエーターホース(左上、左下)、15号で接着面の塗装をはがしたラジエーター(左・外)を用意する。



《仮組み》

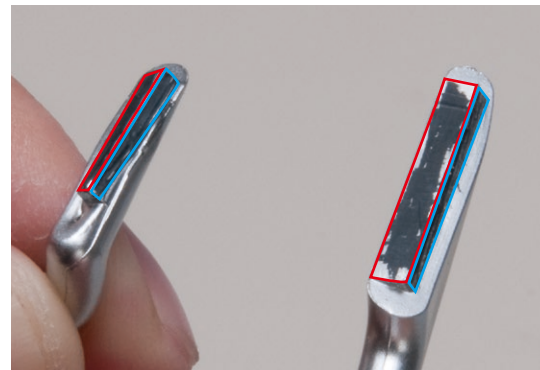
- ラジエーター(左・外)の赤線で囲んだ切り欠きに、ラジエーターホース(左下)の赤線で示した突起を奥まで差し込んで組み合わせる。



- ラジエーターホース(左上)も同様に、ラジエーター(左・外)のもう一方の切り欠きに組み合わせ、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認する。



- ラジエーターホース(左上、左下)の赤線と青線で囲んだ面の塗装を、カッターの刃のない部分ではがす。

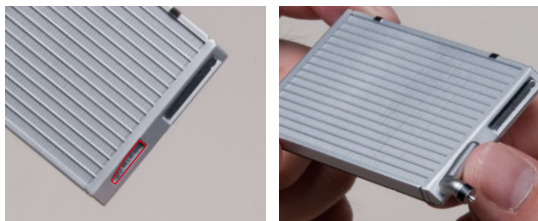


- 塗装はきれいにはがさなくてもよい(写真参照)。

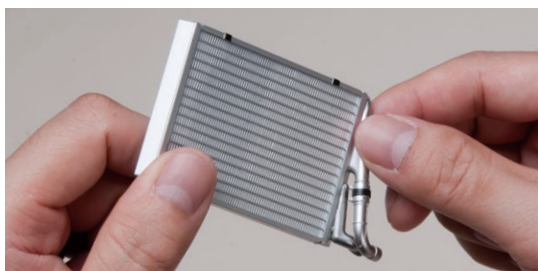
4

ラジエター (左・外) とラジエターホース (左上、左下) を接着する

● ラジエター (左・外)の赤線で囲んだ切り欠きにプラモデル(スチロール樹脂)用接着剤を塗り、仮組みしたようにラジエターホース(左下)と組み合わせて、接着面がはがれないように2~3分おさえる。必ずラジエターホース(左下)を先に接着する。

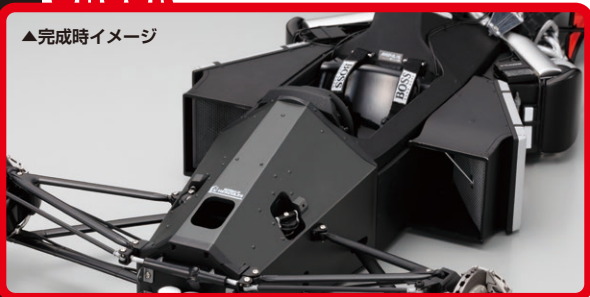


● ラジエターホース(左上)も同様に、ラジエター (左・外)のもう一方の切り欠きに接着剤を塗り、組み合わせた後接着面がはがれないように2~3分おさえた後、完全に接着するまで1時間ほどおく。



Check

▲完成時イメージ



■ サイドポンツーンは後の号で右側を組み立てた後に、モノコックの側面にそれぞれ取り付けていく。

5

モノコックとサイドカバー (左) の接着準備

● 9号で提供したサイドカバー (左)を用意する。



● ①モノコックの左側面にある赤線で囲んだ溝にサイドカバー (左)の赤線で囲んだ突起を組み合わせる。

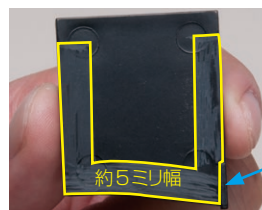
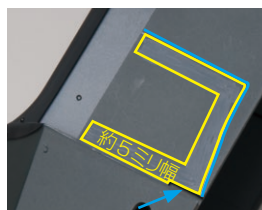


● 赤矢印で示したサイドカバー (左)の突起がモノコックの外形からはみ出していない事を確認し、サイドカバー (左)の外形に沿って、モノコックにシャープペンシルで線を引く(青線で示した部分)。



■ シャープペンシルの先でパーツを傷つけないよう注意する。

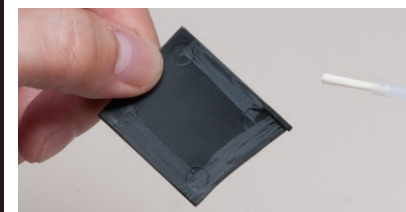
● モノコックの黄枠(シャープペンシルの青線から約5ミリ幅、パーツの境目のラインから約5ミリ幅)の塗装を、カッターの刃のない部分ではがす。サイドカバー (左)の裏面も同様に黄枠の塗装をはがす。青矢印で示した溝や突起の塗装は、はがさなくてよい。



6

モノコックとサイドカバー (左) を接着する

● サイドカバー (左)の塗装をはがした部分に、プラモデル(スチロール樹脂)用接着剤を塗る。モノコックと組み合わせたときに接着剤がはみ出さないよう、サイドカバー (左)の外形の少し内側に接着剤を塗る。

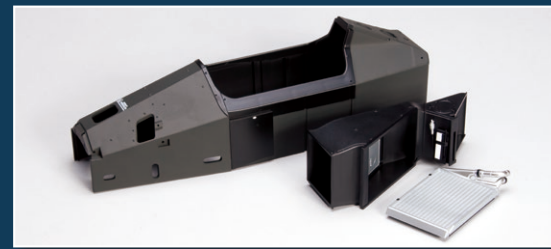


● モノコックとサイドカバー (左)を組み合わせて、接着面がはがれないように2~3分おさえた後、完全に接着するまで1時間ほどおく。



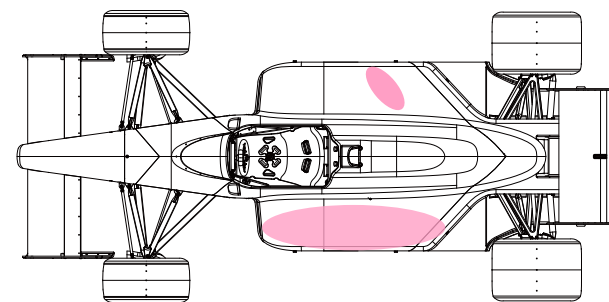
今号の完成

ラジエター (左・内)とサイドポンツーンシステム(左)を装着した、サイドポンツーン(左)が組み立てられた。またラジエター (左・外)にラジエターホース(左上、左下)が、モノコックにはサイドカバー (左)が取り付けられた。



Mission 17 左のサイドポンツーンを組み立てる ②

今号は、前号に続き左のサイドポンツーンを組み立て、右のインタークーラーのコア部分を組み立てていく。まずサイドポンツーン(左)にラジエーター(左・外)とインタークーラー(左)を取り付け、次にインタークーラー(右・外)と(右・内)を接着する。モノコックパーテーション(A)、(B)は、組み立ての事前確認をして保管する。



今号のパーツ

① モノコックパーテーション(A)



② モノコックパーテーション(B)



③ インタークーラー(右・外)



④ インタークーラー(右・内) ダイキャスト製



※①～③はHIPS(スチロール樹脂)製

今号で使用する道具

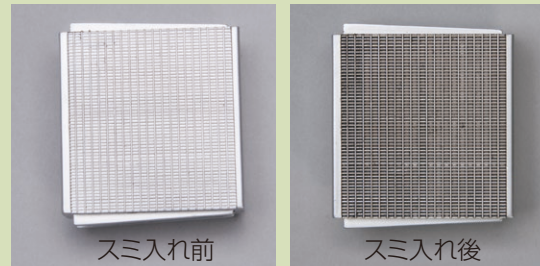
- ・プラモデル(スチロール樹脂)用接着剤
- ・瞬間接着剤
- ・カッター ・カッティングマット
- ・マスキングテープ

用意するもの

- ・サイドポンツーン(左) ※16号で組み立て
- ・ラジエーター(左・外) ※16号で組み立て
- ・インタークーラー(左) ※15号で組み立て

ディテールアップ

インタークーラーのスミ入れ



●インタークーラーは格子部分の凹みにスミ入れをすることでディテールアップできる。スミ入れする場合は、凹み部分にスミ入れ塗料を染み込ませるようにするとよい。このスミ入れは、今号の組み立て作業の後に行う。

※スミ入れはディテールアップのための任意の作業だ。スミ入れについては、9号、10号のディテールアップを参考にしよう。

今号で提供するモノコックパーテーション(A)は、後の号でドライバーズシートの後方上部に取り付ける。またモノコックパーテーション(B)は、モノコックの後端に取り付け、エンジンに接続する。

本モデルのモノコックは、表面を部分的にざらつかせることで、実車の表面の質感を再現している。

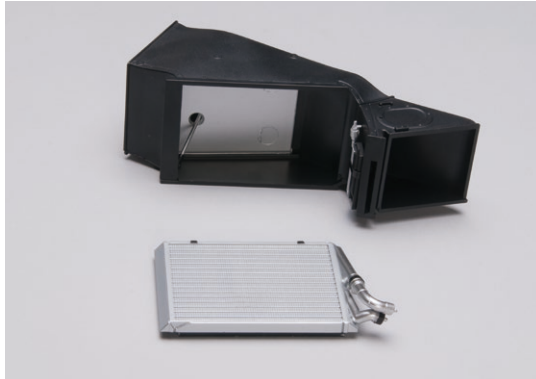
◀MP4/4のフロントからみたモノコック。

In Focus



1 サイドポンツーン(左)とラジエター(左・外)の接着準備

- 16号で組み立てたサイドポンツーン(左)、ラジエター(左・外)を用意する。



《仮組み》

サイドポンツーン(左)の赤線で示した枠に、ラジエター(左・外)の赤線で示した部分を組み合わせる。

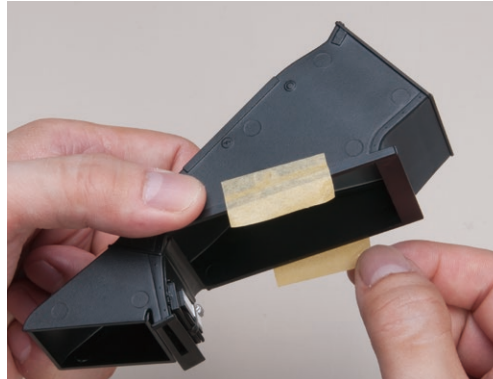


サイドポンツーン(左)とラジエター(左・外)が組み合った状態。仮組みしたら3センチ程度のマスキングテープを2本用意する。

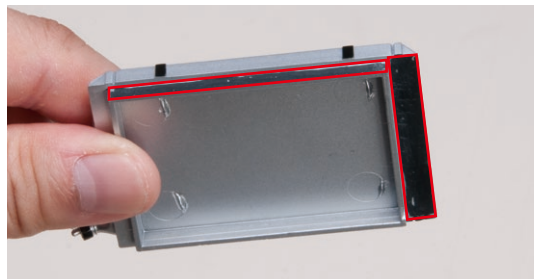


2 サイドポンツーン(左)とラジエター(左・外)を接着する

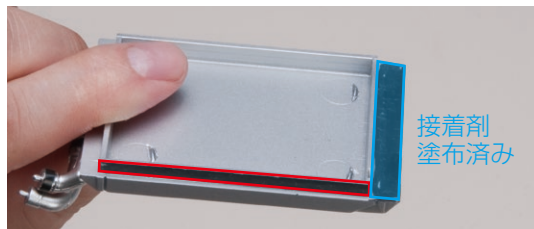
- 用意したマスキングテープを、写真のようにサイドポンツーン(左)に貼っておく。



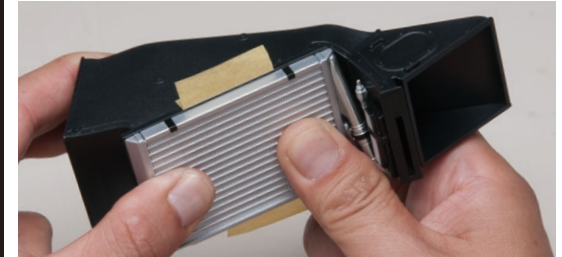
- ラジエター(左・外)の塗装をはがした部分(赤線で囲んだ部分)に、プラモデル(スチロール樹脂)用接着剤を塗る。



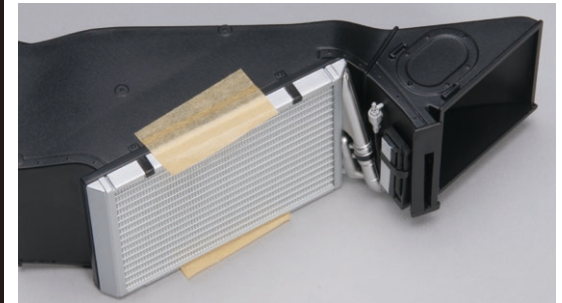
- もう一方の面の塗装をはがした部分(赤線で囲んだ部分)にプラモデル(スチロール樹脂)用接着剤を塗る(青で示した部分は接着剤塗布済み)。



- 仮組みしたように、サイドポンツーン(左)とラジエター(左・外)を組み合わせて、指で2~3分ほどおさえて接着する。



- 接着面が密着するようにマスキングテープで固定する。1時間ほどおき、完全に接着したらマスキングテープをはがす。



- ラジエターにスミ入れをしている場合は、マスキングテープが塗料に掛からないように注意する。

3 サイドポンツーン(左)とインタークーラー(左)の接着準備

- 15号で組み立てたインタークーラー(左)を用意する。



《仮組み》

サイドポンツーン(左)の赤線で示した枠に、インタークーラー(左)の赤線で示した部分を組み合わせる。



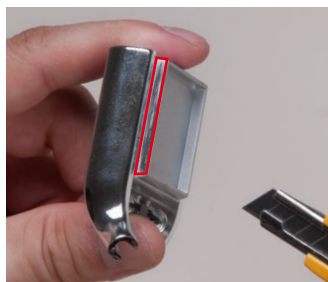
サイドポンツーン(左)とインタークーラー(左)が組み合った状態。



● インタークーラー(左)の赤線で囲んだ部分の塗装を、カッターの刃のない部分ではがす。



● 反対側の面(赤線で囲んだ部分)も同様に、塗装をはがす。



4

サイドポンツーン(左)とインタークーラー(左)を接着する

● インタークーラー(左)の塗装をはがした面の赤点で示した部分に、瞬間接着剤を少量塗る(反対側の面の塗装をはがした部分にも同様に塗る)。



■ 瞬間接着剤は塗りすぎると白化する場合があるので注意する。

● 仮組みしたように、サイドポンツーン(左)とインタークーラー(左)を組み合わせ、完全に接着するまで1分ほどおさえる。



● サイドポンツーン(左)にラジエーター(左・外)とインタークーラー(左)が接着された。



Check

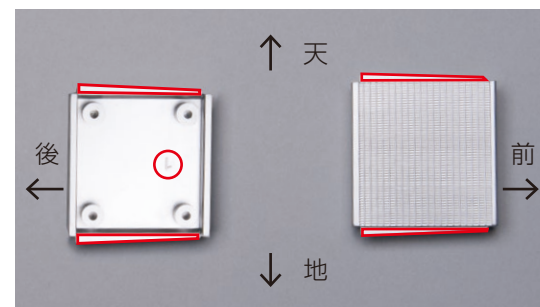


■ 左のサイドポンツーンにラジエーターとインタークーラーが取り付けられ、その存在感が増した。

5

インタークーラー(右・外)とインタークーラー(右・内)の接着準備

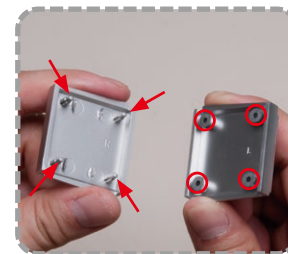
● ③ インタークーラー(右・外)と④ インタークーラー(右・内)は赤線で示した四角形の向きに注意しながら写真のように並べてパーツの形状、前後と天地を確認する。



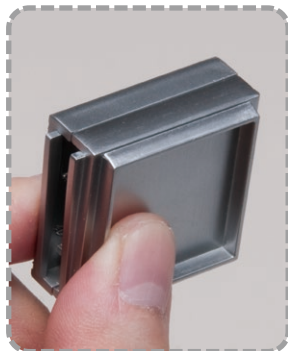
■ 赤丸部分の数字は、作業には関係ない。

《仮組み》

インタークーラー(右・内)とインタークーラー(右・外)の形状を合わせて、赤丸で示した4つの穴に赤矢印で示した4つの突起を入れて組み合わせる。



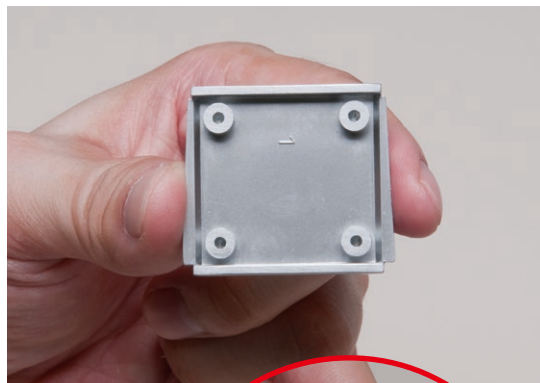
インタークーラー (右・内)とインタークーラー (右・外)を組み合わせた状態。



6

インタークーラー (右・外) と インタークーラー (右・内) を接着する

● インタークーラー (右・内)の4つの穴に瞬間接着剤を1滴ずつ落とし、仮組みしたようにインタークーラー (右・外)と組み合わせ、完全に接着するまで1分程度おさえる。



■ 瞬間接着剤は塗りすぎると白化する場合があるので注意する。



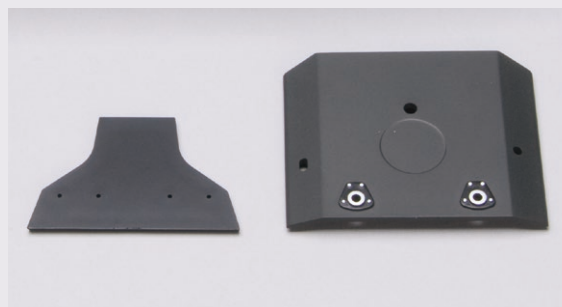
今号の完成

ラジエター (左・外)とインタークーラー (左)が取り付けられ、サイドポンツーン (左)が完成に近づいた。インタークーラー (右・外)と(右・内)が接着され、インタークーラー (右)が組み立てられた。



保管パーツ

① モノコックパーテーション(A)と② モノコックパーテーション(B)は、後の号でモノコックに取り付ける。その作業はナビゲーションで確認しよう。



ナビゲーション

モノコックパーテーション(A)、(B)の 取り付け位置

今号で提供したモノコックパーテーション(A)、(B)は、後の号でモノコックに取り付けるため、事前にその位置を確認しておこう。

1 16号で組み立てたモノコックを用意する。



2 モノコックとモノコックパーテーション(A)の赤線部分の形状を合わせて組み合わせる。

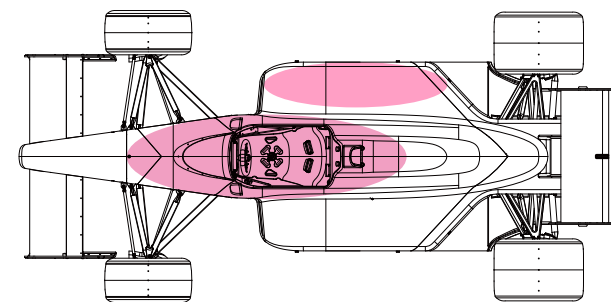


3 モノコックとモノコックパーテーション(B)の赤線部分を組み合わせる。



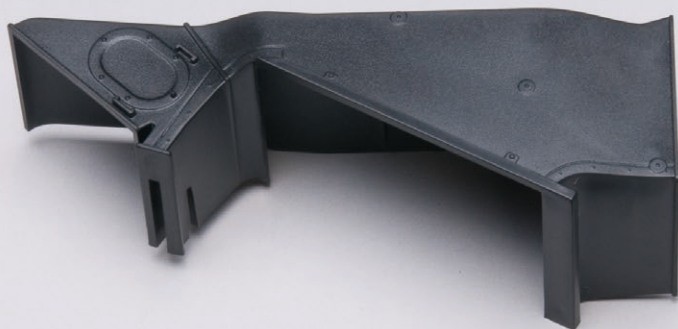
Mission 18 右のサイドポンツーンを組み立てる ①

今号は右のサイドポンツーンを組み立てる。まず、サイドポンツーン(右上)にサイドポンツーンユニットを取り付け、後の号で組み立てる準備として、インタークーラー(右)とラジエーターホース(右上、右下)の接着面の塗装をはがす作業を行う。さらに、モノコックにサイドカバー(右)を取り付ける。



今号のパーツ

① サイドポンツーン(右上)



③ サイドカバー(右)



② サイドポンツーン(右下)



※①～③はHIPS(スチロール樹脂)製

今号で使用する道具

- ・プラモデル(スチロール樹脂)用接着剤
- ・カッター
- ・カッティングマット
- ・シャープペンシルなど

用意するもの

- ・サイドポンツーンユニット ※13号で組み立て
- ・ラジエーターホース(右上) ※14号で組み立て
- ・ラジエーターホース(右下) ※14号で組み立て
- ・モノコック ※16号で組み立て
- ・インタークーラー(右) ※17号で組み立て

ポイント

サイドカバーの接着状態を確認する



●モノコックに取り付けるサイドカバーは、接着時にしっかりおさえないとはがれる場合がある。今号の作業を行う前に、16号で取り付けしたサイドカバー(左)がしっかり接着されていることを確認しよう。

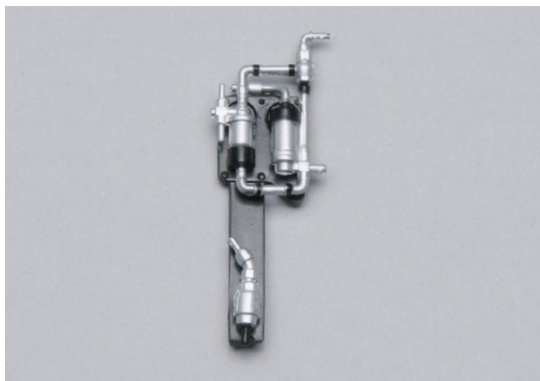
車体の両サイドに張り出したサイドポンツーンは、インタークーラー、ラジエーターといった熱交換器や様々なユニットが取り付けられている。本モデルのサイドポンツーンは、右側にはサイドポンツーンユニット、左側にはバッテリーが取り付けられるなど、細部にまでこだわっている。

◀MP4/4の右のサイドポンツーン周辺。

In Focus

1 サイドポンツーン (右上) と サイドポンツーンユニットの接着準備

- 13号で組み立てたサイドポンツーンユニットを用意する。



《仮組み》

サイドポンツーンユニットの赤線で囲んだ突起を、① サイドポンツーン(右上)の赤線で示した溝に組み合わせる。

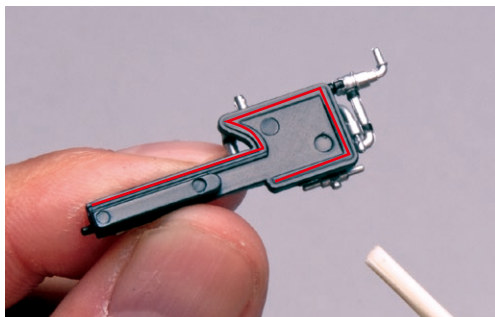


写真のように、サイドポンツーンユニットを溝の奥まで差し込む。



2 サイドポンツーン (右上) と サイドポンツーンユニットを接着する

- サイドポンツーンユニットの赤線で示した部分にプラモデル(スチロール樹脂)用接着剤を塗る。



- 仮組みしたように、サイドポンツーン(右上)とサイドポンツーンユニットを組み合わせて、指で2~3分おさえる。



- 完全に接着するまで1時間ほどおく。



Check



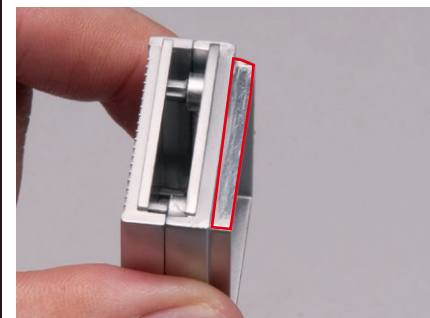
- 16号では左のサイドポンツーンにバッテリーを取り付けたが、今号では右のサイドポンツーンにサイドポンツーンユニット(白矢印)を取り付けた。

3 インタークーラー (右) の 塗装をはがす

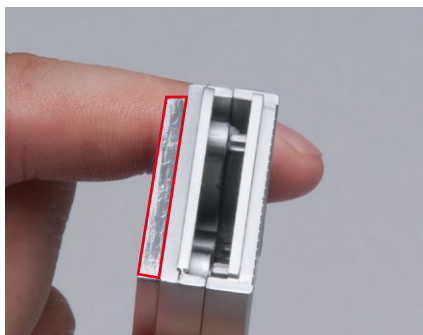
- 17号で組み立てたインタークーラー(右)を用意する。



- インタークーラー(右)の赤線で囲んだ面の塗装をカッターの刃のない部分を使ってはがす。



- 反対側も同様に赤線で囲んだ面の塗装をカッターの刃のない部分ではがす。

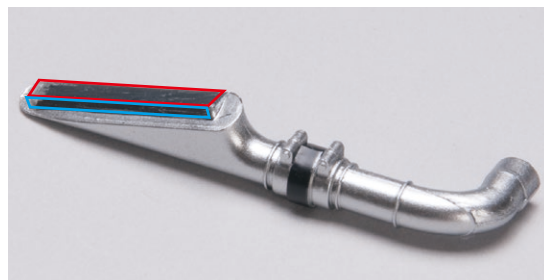


4 ラジエターホース(右上、右下)の塗装をはがす

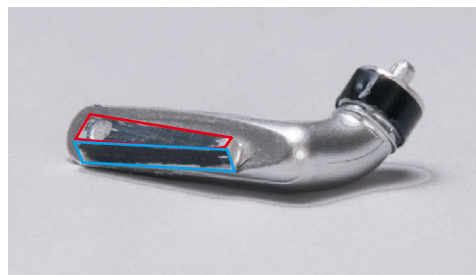
- 14号でラインラベルを貼ったラジエターホース(右上、右下)を用意する。



- ラジエターホース(右上)の赤線と青線で囲んだ部分の塗装をカッターの刃のない部分ではがす。



- ラジエターホース(右下)の赤線と青線で囲んだ部分の塗装をカッターの刃のない部分ではがす。



5 モノコックとサイドカバー(右)の接着準備

- 16号で組み立てたモノコックを用意する。



- モノコックの右側面にある黄線で囲んだ溝に、③ サイドカバー(右)の黄線で囲んだ突起を組み合わせる。

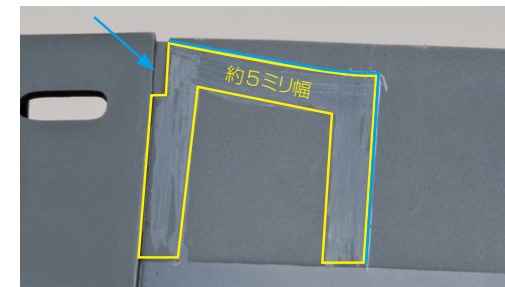


- 黄矢印で示したサイドカバー(右)の突起がモノコックの外形からはみ出していない事を確認し、サイドカバー(右)の外形に沿って、モノコックにシャープペンシルで線を引き(青線で示した部分)。

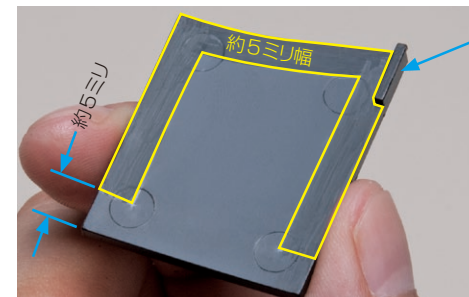


- シャープペンシルの先でパーツを傷つけないよう注意する。

- モノコックの黄枠(シャープペンシルの青線から約5ミリ幅、パーツの境目のラインから約5ミリ幅)の塗装をカッターの刃のない部分ではがす。青矢印で示した溝の塗装は、はがさなくてよい。

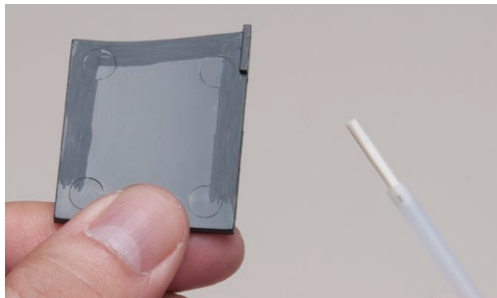


- サイドカバー(右)の裏面も同様に、黄枠の塗装をはがす。青矢印で示した突起の塗装は、はがさなくてよい。



6 モノコックとサイドカバー（右）を接着する

● サイドカバー（右）の塗装をはがした部分に、プラモデル（スチロール樹脂）用接着剤を塗る。モノコックと組み合わせたときに接着剤がはみ出さないよう、サイドカバー（右）の外形の少し内側に接着剤を塗る。



● 仮組みしたように、モノコックとサイドカバー（右）を組み合わせて、接着面がはがれないようにしっかりと2～3分おさえる。

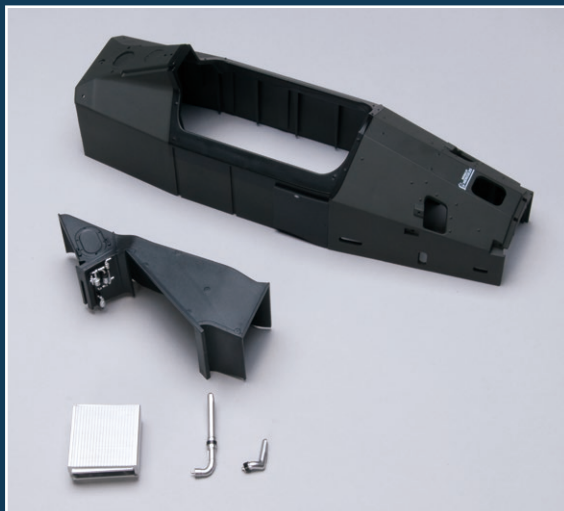


● 1時間ほどおいた後、しっかりと接着されているか確認する。



今号の完成

サイドポンツーン（右上）にサイドポンツーンユニットが、モノコックにはサイドカバー（右）が取り付けられた。インタークーラー（右）とラジエターホース（右上、右下）は、後の号で組み立てる準備として、接着部分の塗装をはがした。



保管パーツ

② サイドポンツーン（右下）は、次号の組み立てで使用するので大切に保管しておこう。



ナビゲーション

左右のサイドポンツーンとモノコックの取り付け位置

今号で組み立てたサイドポンツーン（右上）と、サイドポンツーン（右下）は、17号で組み立てたサイドポンツーン（左）とともに、後の号でモノコックに取り付ける。事前に取り付け位置を確認しておこう。

1 サイドポンツーン（左）の赤線で示した部分を、モノコックの赤線で示した溝に組み合わせる。



2 モノコックとサイドポンツーン（左）が組み合った状態。



3 サイドポンツーン（右上）とサイドポンツーン（右下）を仮留めして（詳しい工程は15号のナビゲーションを参照）、1 2と同様にモノコックと組み合わせる。

